

千葉公園における大賀ハス栽培の記録

西暦	元号	月日	項 目	内 容	最大花数
1952	S27	4/7	<ul style="list-style-type: none"> 古代ハスの蓮根を掘り上げ 分根した蓮根を植え付け 	<ul style="list-style-type: none"> 昭和 26 年（1951）に発掘された古代ハスの実生苗が生長して、27 年 4 月 7 日、千葉県農業試験場（市内都町）において午前 10 時に大賀博士も立ち会って掘り上げられ蓮根が収穫された。 この蓮根は、4 節 60cm（大）、3 節 40cm（中）、2 節 20cm（小）のもの 3 つに分根され、40cm の蓮根（中）は、千葉市の希望によって千葉公園の弁天池（綿打池の下池）に植え付けられた。 午後 2 時近く大賀博士が「向きはこっちがよいとか、深さはどの位がよい…」などと指導され、巖島神社（通称・弁天様）の裏の豊 1 枚半ほどの場所に、当時の公園事務所職員・山田繁蔵氏が植え、ザリガニに食害されないよう金網をかけておいた。 また、大賀博士は、その際、現在ほど樹木が大きくなり日当たりが良かった弁天池を「ハスの生育のためにはとてもよい場所だ」と言っていたという。 	
1952	S28	8/5	弁天池の大賀ハスが開花	<ul style="list-style-type: none"> 8 月 5 日に初めて開花し、その後 3 つ咲き、この年、4 つの花が咲いた。 山田氏によると、採れたハスの実は事務所で保管しており、当時千葉市助役であった平山滋春氏が、池のまわりに蒔いたこともあったが、削皮処理が施されていないこともあって、発芽はしなかったという。 その後、大賀博士は年に 2、3 回 3 月下旬か 4 月上旬に弁天池のハスの蓮根を掘りにきた。 その際、宮内三郎・千葉市長のところにおいて蓮根を希望し、市長の命令によって職員が掘り出し、発送を博士に依頼され、長い木の箱を作り段ボール箱にいれ日通で送ったこともある。 その後、弁天池では田の土を入れ替えたりして管理しているが、千葉公園荒木山にコンクリート製の池を作り、大賀ハスを栽培している。 	
1956	S31	7/18	第 1 回千葉はすの会	<ul style="list-style-type: none"> 古代ハスを賞でる風流人の集いとして「千葉はすの会」が、千葉公園のハス池前で午前 7 時から開催され約 80 人が参加した。会長は杉本郁太郎氏（当時・奈良屋社長）がつとめ、大賀博士のハスの話やハスと川柳・俳句などハスに因んだ話題に花が咲いた。 以降、平成 12 年（2000）まで、毎年 7 月 18 日に千葉はすの会が開催された。 	
1964	S39	3/29	東大グラウンド心字池に移植	<ul style="list-style-type: none"> 大賀ハスの蓮根が、千葉公園から発掘場所の東京大学総合グラウンド心字池に転植された。 発掘場所が東京オリンピックのクロスカントリー会場に決まったことから、古代ハスを古巣に戻し、さらに発掘記念碑を建て大賀博士の偉業を称えようというもの。 	
1964	S39		白鳥のお礼に古代ハス	<ul style="list-style-type: none"> 白鳥のお礼に千葉公園から宇部・常盤公園へ大賀ハスを分根。 	
1966	S41	7/18	第 10 回千葉はすの会	<ul style="list-style-type: none"> 千葉公園の展望台で千葉はすの会が開催された。 	
1968	S43		大賀ハスが枯れ始める	<ul style="list-style-type: none"> 千葉公園ハス池の大賀ハスが枯れ始める。原因は軟腐病。これまでハス池の手入れが良くないとわれていたことから、昨冬(S42)、木更津方面のハス田から客土して池の土を入れ替えたが、これに病菌がついていたらしい（読売新聞）。 	

				・急きょ 200 株の蓮根を掘り起こし池の完全消毒を実施した。	
1970	S45		生き返った大賀ハス	・千葉公園の大賀ハスは絶滅寸前の状態まで陥ったが、生き返り再び花を咲かせた。	
1976	S51	7/18	第 20 会千葉はすの会	・千葉公園の展望台で千葉はすの会が開催された。	
1985	S60	7/18	第 30 会千葉はすの会	・千葉公園の展望台で千葉はすの会が開催された。	
1990	H02		花の万博に大賀ハスを出展	・大阪市鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会に大賀ハスを観賞する「蓮華汀」を出展	
1993	H05	3/31	ハス池の整備	・綿打池北畔にハス池 (900 m ²)、木道、芝生広場等が整備された (約 9000 万円)	
		4/29	市の花に制定	・政令指定都市移行を記念して、大賀ハスが「千葉市の花」に制定された。 ・市の木・花・鳥の記念式典及び大賀ハスの植え付け祭 (106 か所、318 株) が行われた。	
1994	H06	7/1	蓮華亭オープン	・ハス池北側に蓮華亭 (展示ホール、デッキ等 384 m ²) を新築 (3 月竣工、約 1 億 7700 万円)。	
2000	H12	7/18	第 45 会千葉はすの会	・千葉公園・蓮華亭にて、最後となる千葉はすの会が開催された。	
2003	H15	11/21	ちはなちゃん制定	・「花のあふれるまちづくり」のシンボルキャラクターとして、市の花オオガハスの妖精をイメージした「ちはなちゃん」を制定した。	
2008	H20	7/5	第 1 回大賀ハスを観る会	「花とひとのネットワーク実行委員会」の主催で第 1 回「大賀ハスを観る会」を開催。	
2009	H21	7/1	第 2 回大賀ハスを観る会	「花とひとのネットワーク実行委員会」の主催で第 2 回「大賀ハスを観る会」を開催。	239(※)
2010	H22	7/3	第 3 回大賀ハスを観る会	「花とひとのネットワーク実行委員会」の主催で第 3 回「大賀ハスを観る会」を開催され、南定雄氏による花ハスの解説、登戸神社の神楽囃子などが行われた。	600(※)
2011	H23	7/2	第 4 回大賀ハスを観る会	「花とひとのネットワーク実行委員会」の主催で第 4 回「大賀ハスを観る会」を開催され、花ハスの講演 (南定雄)、箏の演奏 (朝香麻美子)、象鼻杯などが行われた。	720(※)
2012	H24	4/13 7/7	大賀ハス開花 60 周年 第 5 回大賀ハスを観る会	開花 60 周年を記念し、大賀ハスの系統保存(4/13)、花とひとのネットワーク実行委員会主催による第 5 回「大賀ハスを観る会」を開催(7/7)、リーフレット制作、大賀ハス写真展を実施。	765(※)

※ シーズン中の日最大花数 (開花 1 日目～4 日目の合計)